

鴨川市 森林環境譲与税の使途(令和6年度)

事業名	事業総額(円)				事業内容	実績	事業効果
	総事業費	うち当該年度の森林環境譲与税	うち基金取崩額	うち他の財源			
千葉県森林クラウドシステム使用料	83,600	83,600	0	0	千葉県森林クラウド使用料	—	
千葉県森林経営管理協議会負担金	28,000	28,000	0	0	市が取り組む森林経営管理政策の推進、森林環境譲与税による取り組みや情報共有等の推進を図るための「千葉県森林経営管理協議会」の会費。	—	
森林経営管理事業委託料	2,849,000	2,849,000	0	0	森林所有者への森林整備に関する意向調査の結果を踏まえ、今後の森林整備についての説明会の開催、現地調査を実施。	説明会開催 1回 現地調査 10ha	
景観林機能保全業務委託料	5,767,300	5,767,300	0	0	東条地区の快適環境形成機能を持つ松林において、松くい虫被害防止のため、薬剤の樹幹注入を行う。また、被害の状況に応じ、抵抗性を有する松の植栽をし、被害跡地の復旧を図る。	草刈り 2ha 薬剤注入 573本 植栽 2本 看板設置 1箇所	
鴨川市森林環境譲与税基金積立		16,771,100	0	0		—	

- 鴨川市では、市内の約62%が森林で、森林所有者の高齢化・経営意欲の低下や不在村の進行等により、適切な管理が行われていない森林が増加していることから、令和2年度に森林環境整備基本計画を策定し、市内を12の区域に分け森林整備の優先順位を付けたうえで、計画的に森林整備を実施していく。
- 令和3年度、令和4年度に森林整備の優先度の高い地区において、森林整備に関するアンケート調査を実施した。
- アンケート調査の結果、「森林整備を森林組合等に依頼したい」、「市に仲介してもらい森林整備を行いたい」と回答のあった森林所有者に対し、今後の森林整備の進め方について説明会を開催した。
- 説明会において、森林所有者の理解が得られたことから、令和6年度から森林整備を実施している。

□ 事業内容

森林整備の説明会の開催

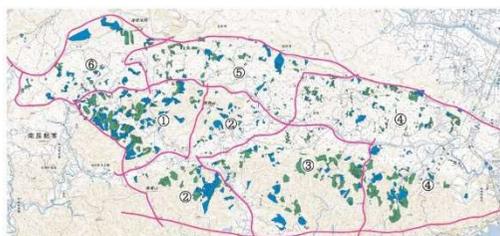
- ・アンケート調査を行った地区において、森林管理の意向のある所有者が多いことから、対象区域を6地区に分け、そのうちの③地区及び④地区において、今後の森林整備の進め方について説明会を実施した。

【実績】出席者 24名

森林整備箇所の調査

- ・令和5年度に実施した説明会において、森林整備の理解が得られた②地区において、森林の調査を実施し、市の業務委託で発注する森林の区域を確定した。

【アンケート調査区域】



【説明会状況】



□ 工夫・留意した点

- ・市に林務専門職員がいないため、地元森林組合と相談しながら、調査区域を選定した。
- ・森林整備の理解が得られた森林を調査し、林業経営が成り立つ森林については、森林組合の森林経営計画に編入して実施し、林業経営に適さない森林は、市が委託発注し施業する。

□ 取組の効果

- ・森林整備の進め方の説明会を開催することができ、森林整備に向けての現地調査に進め、令和7年度に市で委託発注する区域を確定することができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：25,990千円	②私有林人工林面積（※1）：4,185ha	
③林野率（※1）：66.3%	④人口（※2）：32,116人	⑤林業就業者数（※2）：18人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 鴨川市では、東条地区の国道128号沿いに約2kmにわたり、飛砂防備機能・防風機能等を有する私有保安林が指定されている。
- 私有保安林は、森林整備や管理が行き届かない箇所もあり、松くい虫被害によりクロマツが枯れ、疎林化するなど保安林機能の低下が懸念されている。
- このため、草刈りや松枯れ防止薬剤の樹幹注入、枯死木の伐倒や新たにクロマツを植栽するなど、計画的に実施することにより景観や保安林機能の保全を図る。

□ 事業内容

【事業費】 5,767,300円（全額譲与税）

【実績】 草刈り 2ha
 薬剤注入 573本
 枯死木伐採・植栽 2本
 看板設置 1箇所

【草刈り】



【植栽】



【薬剤注入】



【看板設置】



□ 工夫・留意した点

- ・私有保安林のため、所有者に事業の趣旨を説明をし、理解を得て実施。
- ・保安林の面積も広く、数年に分けて実施していくため、道路等の地形に合わせて区域を分割した。
- ・樹幹注入する薬剤は有効期間の長いものを選定した。
- ・植栽するクロマツの苗について、松枯れに抵抗性を有するものとした。

□ 取組の効果

- ・危険木の伐採後に植栽することにより、保安林機能の維持が図られる。
- ・枯死した倒木の危険性のある危険木を伐採したことにより、歩行者や通行車両等の安全確保が図られた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：25,990千円	②私有林人工林面積（※1）：4,185ha	
③林野率（※1）：66.3%	④人口（※2）：32,116人	⑤林業就業者数（※2）：18人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より